



校長あいさつ

沖縄県立美来工科高等学校
校長 新屋敷博史

本校は、昭和 38 年に当時の琉球政府中央教育委員会において、本島中部地区の工業技術教育の基幹校として認可され創立に至りました。

昭和 39 年 4 月に新入生 240 名(自動車科 80 名、電気科 80 名、機械科 80 名)を迎え、併せて琉球政府立コザ高等学校から自動車科、電気科の生徒を引き継ぎ、琉球政府立中部工業高等学校として開校しております。その後、昭和 40 年に電子コース(以後、電子科へ発展)を設置し、昭和 42 年には土木科を設置しております。

平成 17 年度から校名が美来工科高等学校に変更され、学科改編に伴い IT システム科とコンピュータデザイン科を新設しております。その後も、時代のニーズに対応した学科改編を図りながら工業教育・情報教育の専門高校として発展を果たし、昨年度は創立 60 周年を迎え、12 月 8 日には沖縄市民会館大ホールにて、在校生、職員、同窓生など 1200 名余りが参加し、盛大に記念式典を開催することができ、同窓生や地域社会から愛されている学校だと実感しました。昨年度までに、卒業生は前身の中部工業高校から、16,033 名を数え、県内外において幅広く活躍しております。

現在の学校の状況ですが、進路実績では、昨年度進路決定率が 93%を達成し、特に進学では、琉球大学、名桜大学、富山大学、山口大学、高知工科大学、岩手県立大学、北見工業大学へ計 15 名(令和 4 年度 16 名)の国公立大学合格者を輩出し、専門高校ではトップクラスの進学実績を継続しています。また、就職においても県内外の優良企業に数多くの就職合格者を出しております。

部活動では体育系(バスケット・野球・ボウリング・ボクシング・自転車・空手・バレーボール・ハンドボール・サッカー・バドミントン・卓球他)、文化系(機械工作・自動車整備・電子工作・ICT・写真・クリエイティブ・演劇・将棋・放送他)、多くの部活動があり、特に男子バスケット部の県大会優勝やロボット競技、エコデッカー、自動車整備、ものづくりコンテスト、写真コンテストにおいて、県大会・九州大会・全国大会で大きな実績を挙げております。また、国家試験(電気工事士・陸上特殊無線技士・危険物取扱者試験・ボイラー技士・自動車整備士・土木施工管理技術者試験・情報処理技術者試験・各種技能士、IT パスポート他)にも多くの合格者が出ております。

本校では校訓である「物心一如」「協力一致」「謙虚な心」の精神の元、人間尊重の教育を礎とし、すべての活動で最後までやり抜くことのできる生徒の育成を目指し、社会の変化や科学技術の進歩に主体的に対応し、国際的な視野に立つ工業・情報分野のスペシャリストの育成に努めています。

今後も産業界・地域・PTA・同窓会等と連携協力し、地域から信頼され、期待される学校づくりの実現に向けて全職員で取り組んで参ります。

令和 6 年 4 月